

令和6年度進行管理・評価シート
岩国市歴史的風致維持向上計画（令和6年7月17日認定）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 岩国市歴史的風致維持向上計画の実施体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 岩国市景観計画	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 岩国城跡等調査事業	3
2 重要文化財旧目加田家住宅整備事業	4
3 岩国高校記念館改修事業	5
4 重要文化的景観の重要な構成要素の整備	6
5 歴史的建造物の保存活用	7
6 岩国練武場改修事業	8
7 岩国学校教育資料館改修事業	9
8 JR西岩国駅駅舎改修事業	10
9 岩国城耐震等改修事業	11
10 岩国城ロープウエー耐震等改修事業	12
11 まちづくり団体設立・育成支援事業	13
12 歴史的風致を支える市民意識の醸成に関する事業(郷土史研究会)	14
13 錦帯橋鶴飼保存事業(歴史的風致を活かした観光振興事業)	15
14 岩国南条踊記録作成事業	16
15 山代神楽の紹介リーフレット作成事業	17
16 城下町街なみ環境整備事業	18
17 文化的景観の整備活用	19
18 吉香公園 北東ゾーン園路整備事業(仮称)	20
19 景観形成事業補助制度	21
20 岩国2丁目観光駐車場整備事業	22
21 岩国4丁目観光駐車場整備事業	23
22 (仮称)錦帯橋ビジターセンター整備事業	24
23 岩国市博物館整備事業	25
24 未指定文化財の調査	26
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の保存・活用の現況・体制と今後の方針	27
2 文化財の修理(整備)に関する方針	28
3 文化財の防災に関する方針	29
4 文化財の保存及び活用の普及・啓発に関する方針	30
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 岩国高校記念館 改修へ 他	31
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
1 住民意識や認知度の向上	32

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	33
-------------------------	----

評価軸①-1

組織体制

評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
岩国市歴史的風致維持向上計画の実施体制		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	本市は、本計画の実施にあたって、歴史まちづくり法第11条に基づく「岩国市歴史的風致維持向上計画協議会」を中心に、計画の進捗管理・評価などの計画推進に係る事項や計画変更の協議などを行う。協議会の事務局は、文化財の所有者・管理者、関係団体などとの連絡調整を行い、本計画の円滑な推進に努める。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
上記協議会は、景観整備課が事務局となり運営している。 令和6年度は、岩国市歴史的風致維持向上計画の策定に向けた協議会を1度開催し、策定後の計画推進にかかる協議会を1度開催した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	計画の進捗管理・評価などを協議する場面において、関係部署が多岐にわたるため、事務局が庁内での集約・意識共有を行い、円滑な計画推進を図っていく。	
状況を示す写真や資料等		
岩国市歴史的風致維持向上計画の実施体制		
〈令和5年度の協議会開催実績〉 第1回(R6.1.11開催) ○岩国市歴史的風致維持向上計画の策定に向けた協議 〈令和6年度の開催実績〉 第2回(R6.5.28開催) ○岩国市歴史的風致維持向上計画の策定に向けた協議 第3回(R7.2.10開催) ○岩国市歴史的風致維持向上計画の認定の報告 ○岩国市歴史的風致形成建造物の指定について ○計画の進捗管理・評価に関する協議 第3回協議会の様子		

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和6年度
岩国市景観計画		現在の状況
		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載『岩国市景観計画』では地区の特性を活かしたきめ細やかな景観形成を図る必要がある地区として、横山地区と岩国地区を重点地区に指定している。同計画に基づき、城下町にふさわしい良好な景観の形成を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

同計画に基づき、建築物・工作物の新築・改修等に対し、地区の特性に応じた景観誘導を行った。
令和6年度の重点地区の届出件数は、12月末時点で44件。(令和5年度:60件)
また、景観形成に関する重要な事項について審議する岩国市景観審議会を設置しており、令和6年度は12月末時点で2回開催した。(令和5年度:4回開催)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
□計画どおり進捗していない

様々な関係法令の手続きが発生する建物の新築と比べ、外壁の塗り替えや塀の新設などは、通常行政の手続きが発生しないため、届出が漏れてしまうケースがあり、継続的な制度の周知が必要である。

状況を示す写真や資料等

重点地区における景観形成の方針

横山重点地区

うるおい住宅地区
周辺の歴史的景観に配慮した
閑静な住宅地の景観づくりを
めざします。

歴史散歩地区
錦帯橋から続く多くの歴史的
景観資源と観光資源を活かし
た景観づくりをめざします。

山林河川地区
城山斜面緑地と錦川河川区域の
自然景観を保全します。

方針1 豊かな自然を守り・活かす

- 市街地から城山へと続く緑を守り、吉香神社や土手、河川敷の桜並木をはじめとした四季折々の豊かで美しい自然を感じられる景観づくりをめざします。
- 錦帯橋や錦川から城山への眺望景観を守り、文化的景観の継承に取り組みます。
- 史跡をつなぐ堀割と菰蒲園の水辺景観を保全します。
- 錦川の流れと護岸、河川敷の竹林が形成する河川景観を保全します。

方針2 歴史文化を未来へつなぐ

- 岩国城下町の歴史を受け継ぐ建造物、堀割や石垣、門塀・庭木の緑が連なるまちなみと人々の暮らしが形作る文化的景観を守り育て、歴史文化を未来へつなぐ景観づくりをめざします。

方針3 快適なまちを守り・創る

- 錦帯橋周辺や城山から眺望されるまちなみ、いぶし銀の和瓦屋根と建物の高さが整った統一感のある家々を守り育てます。
- 城下町の文化的景観を継承するとともに、武家屋敷地に由来する、ゆったりとした土地利用からなる風情と風格を育むよう、門・塀や前庭の緑が連なる和風の佇まいを基本とするまちなみ景観をめざします。
- 景観形成を通じて、道路や公園、歩行者ネットワーク等の住みやすい都市基盤整備を図るとともに、公共施設の修繕を図り、快適な居住環境の向上をめざします。

岩国重点地区

山林地区
椎尾神社へ続く緑と岩国山へ続く山並みの自然
景観を保全します。

沿道にぎわい地区
岩国地区へのアクセス道路沿道に、風格と統一
感のある景観づくりをめざします。

こまちなみ地区
岩国城下町に由来する商業地の歴史と文化を継
承した、風情のある景観づくりをめざします。

ゆとり住宅地区
武家屋敷地等に由来するゆとりと風格を感じる
低層住宅地の景観づくりをめざします。

方針1 豊かな自然を守り・活かす

- 市街地の背景として椎尾神社から岩国山へ続く緑を守り、四季折々の豊かな自然を感じられる景観づくりをめざします。
- 錦帯橋や錦川から岩国山への眺望景観を守り、文化的景観の継承に取り組めます。
- 錦川の流れと護岸が形成する河川景観を保全します。

方針2 歴史文化を未来へつなぐ

- 岩国城下町の歴史を今に伝える町割や構門、白壁や板張りの塀、錦見七町を中心としたまちなみを形成する町家等、重要な資源を修繕し、人々の暮らしの中で使い続けていくことで城下町の文化的景観を継承し、歴史文化を未来へつなぐ景観づくりをめざします。

方針3 快適なまちを守り・創る

- 岩国城下町の歴史的な商業地としての魅力を高め、にぎわいと風格を感じさせる文化的景観の継承と魅力的な景観の形成をめざします。
- 岩国城下町の文化的景観を継承し、錦帯橋へと続くメイン通りである大町小路の風情を継承した門塀と前庭が連なるまちなみや、歴史的な町を継承した軒が連なるまちなみの保全・形成を図り、和のしつらえや近代建築等のモダンと調和した佇まいを基本とする、低層を中心としたまちなみ景観の形成をめざします。
- 景観形成を通じて、道路や公園、歩行者ネットワーク等の住みやすい都市基盤整備を図るとともに、公共施設の修繕を図り、快適な住環境の向上をめざします。

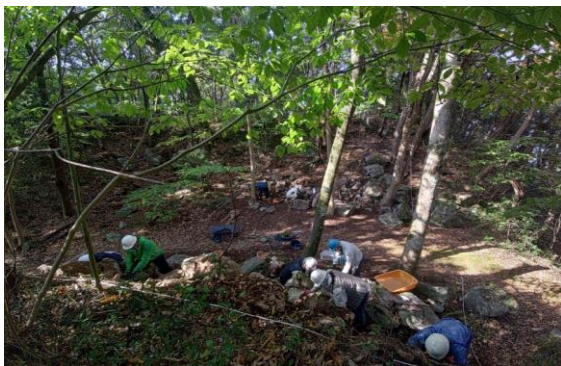
重点地区における届出対象行為

区域	行為の区分	届出の対象となる規模
重点地区	1 建築物の新築、増築、改築、移転、外観を変更することとなる修繕、模様替え、色彩の変更	規模にかかわらず全ての行為。ただし、室外機等の生活関連施設機器にあっては、前面道路から見えるもののうち、幅、奥行き及び高さがいずれも1mを超えるもので、かつ、設置する高さが3mを超えるものに限る。
	2 工作物の新設、増築、改築、移転、外観を変更することとなる修繕、模様替え、色彩の変更	
	3 看板、自動販売機等の設置、取替又は移転	
	4 建築物又は工作物の撤去	対象面積が10㎡を超えるもの又は高さが1.5mを超える法面を生じさせる切土又は盛土
	5 都市計画法第4条第12項に規定する開発行為	
	6 土地の開墾、土石の採取、鉱物の掘採その他の土地の形質の変更	
	7 木竹の植栽又は伐採	
	8 屋外における土石、廃棄物、再生資源その他の物件の堆積	対象面積10㎡を超えるもの又は堆積の高さ1.5mを超えるもの

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
岩国城跡等調査事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和5年度～	
支援事業名	文化庁補助(国宝重要文化財保存整備費補助金)	
計画に記載している内容	岩国城跡については、十分な調査が行われていないことから、その価値を明らかにする調査を実施するもの。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
・発掘調査は、岩国城跡では3ヶ所、岩国城御土居跡では4ヶ所の調査区を設定し、調査を行った。そして文献調査や、過去の岩国城跡の調査の整理作業を開始し、検討を行っている。 ・調査検討委員会を2回開催し、調査において指導、助言を受けている。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	計画どおりであるが、城跡の特色の一つである破城痕跡について、その類型化を考えていくことと、岩国城跡と岩国城御土居との城郭としての一体性と、一国一城令後の岩国城御土居跡のあり方を考えていくことなど、価値付けにおける課題が多い。	
状況を示す写真や資料等		



岩国城跡調査



岩国城跡調査



岩国城御土居跡調査



岩国城御土居跡調査

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
		現在の状況	
重要文化財旧目加田家住宅整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和3年度～		
支援事業名	文化庁補助(重要文化財等防災施設整備事業)		
計画に記載している内容	重要文化財旧目加田家住宅は、令和5年に保存活用計画を策定。保存活用計画に基づき、旧目加田家住宅の公開活用を推進し、そのために必要となる施設整備等を実施するもの。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
保存活用計画に基づき、令和6年度に防災・防犯施設整備の実施設計を行った。令和7年度に防災・防犯施設の整備工事を行う予定。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



旧目加田家住宅 外観



消火栓



警報盤



消火栓



消火ポンプ小屋



消火ポンプ

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目			現在の状況
岩国高校記念館改修事業			☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	令和6年度～令和8年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	岩国高校記念館は、重要文化的景観の重要な構成要素に特定されている。その老朽化による耐震性の懸念から、耐震改修を実施するもの。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和6年9月から耐震等改修工事に着手し、内外装の撤去、曳き家等を行った(事業の進捗は約12%)。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



事業着工前



事業施工中



曳き家の様子①



曳き家の様子②

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
重要文化的景観の重要な構成要素の整備		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	令和6年度～	
支援事業名	文化庁補助(文化的景観保護推進事業)	
計画に記載している内容	重要文化的景観の重要な構成要素として、重点区域内の多くの建造物が特定されている。本事業は、重点区域内にある重要文化的景観の重要な構成要素について、修理・復旧を推進する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
本市の重要文化的景観「錦川下流域における錦帯橋と岩国城下町の文化的景観」の価値を保存・継承し価値や魅力を発信するために、保存活用計画及び整備計画に基づき整備事業を実施しており、令和6年度は、民間所有の重要な構成要素3件の修理に対し補助を行った。 吉川史料館：一部屋根瓦葺き替え及び屋根補修工事 H家住宅：屋根、外壁、建具等修理工事 柳原喜輪商会：ガラス戸等修理工事		
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
・取組状況の一例 ○施工前   吉川史料館 北長屋 東面 屋根修理箇所(下屋) 吉川史料館 北長屋(西から) ○作業経過   垂木・瓦座、野地板交換 瓦施工 ○施工後   吉川史料館 北長屋 東面 屋根修理箇所(下屋) 既設瓦選別、清掃し、使用可能なものは再利用		

補助対象事業		補助対象経費	補助率	補助限度額
事業の種類	補助対象物件			
建築物の修理	主屋、附属屋、蔵、門	保存活用計画に基づく当該物件の通常望見できる屋根、外壁等の外観及びこれと密接な関係を有する基礎、土台、床組、柱、梁材、横架材、小屋組等の構造耐力上必要な主たる構造の痕跡に従う修理に係る経費	9/10以内	900万円
	社寺	保存活用計画に基づく当該物件の通常望見できる屋根、外壁等の外観及びこれと密接な関係を有する基礎、土台、床組、柱、梁材、横架材、小屋組等の構造耐力上必要な主たる構造の痕跡に従う修理に係る経費	9/10以内	1,080万円
		耐震診断の結果、耐震性が不足すると判断される場合に行う耐震改修に係る経費	9/10以内	180万円
工作物又は環境物件の復旧	塀	当該要素の履歴に従う復旧に係る経費	9/10以内	上限なし
	石垣、石積			900万円
	その他の工作物			90万円
	環境物件(重要な構成要素と一体となって保存することが必要と認められる物件をいう。)			45万円

備考 補助金の額は、補助対象経費に補助率を乗じて得た額(補助限度額の範囲内とし、1,000円未満の端数があるときは切り捨てる。)の合計額とする。

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
歴史的建造物の保存活用		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和6年度～		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	重点区域内において、重要文化的景観の重要な構成要素として特定された建造物以外の、歴史的なまちなみを構成する歴史的建造物の保存・活用を実施するもの。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和7年度からの旧佐伯家住宅及び門塀の整備事業の推進に向けて、整備後の利活用の検討を行い、賑わいの創出や観光客等の来訪者の満足度を高め、滞在時間の延長を図る活用を行うこととした。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			



旧佐伯家住宅及び門塀 外観

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目	現在の状況	
岩国練武場改修事業	☐ 実施済 ☐ 実施中 ☒ 未着手	
事業期間	令和11年度～	
支援事業名	市単独	
計画に記載している内容	岩国練武場は登録有形文化財に指定されている。登録有形文化財として適切な維持管理を通じた保存を図るとともに、今後も、地域に根差した剣道等の会場として活用していくため、必要な改修を実施するもの。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		



岩国練武場 外観

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
岩国学校教育資料館改修事業		☐ 実施済 ☐ 実施中 ☒ 未着手
事業期間	令和11年度～	
支援事業名	市単独	
計画に記載している内容	岩国学校教育資料館は、県指定有形文化財。各部の老朽化が進み安全対策と県指定有形文化財としての維持が課題となっているため、その改修工事を実施するもの。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		

状況を示す写真や資料等



▲岩国学校教育資料館外観



▲瓦下の赤土の老朽



▲過去の雨漏りの様子

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
JR西岩国駅駅舎改修事業		☐ 実施済 ☐ 実施中 ☒ 未着手	
事業期間	令和7年度～令和9年度		
支援事業名	市単独		
計画に記載している内容	JR西岩国駅駅舎は登録有形文化財に指定。昭和4年の建築以降、100年近く地域の通勤、通学の拠点として活用されているが、各部の老朽化が進み安全対策と登録有形文化財としての維持が課題となっているため、その改修工事を実施するもの。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない		施設の老朽化により、多額の財源を確保することや事業実施に向けた関係各機関との調整が必要となる。	
状況を示す写真や資料等			



JR西岩国駅駅舎 外観

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
岩国城耐震等改修事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 令和12年度～

支援事業名 市単独

計画に記載している内容 岩国城は、岩国城下町を一望できる城山に昭和37年に再建され、景観重要建造物に指定されている。その老朽化による耐震性の懸念やバリアフリー上の課題があることから、耐震等改修工事を実施するもの。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和2年度に実施した岩国城耐震補強設計検討業務の診断結果を基に、関係機関と岩国城の在り方や料金改定に関する検討を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

耐震補強を実施した場合、展示スペースの減少が懸念されており、令和12年の耐震工事に向けて岩国城の活用方法について引き続き検討を進める。

状況を示す写真や資料等



岩国城(外観)

岩国城料金	(円)
大人	270
大人団体	200
大人セット※	240
大人団体セット※	170
大人障害者	130
小人	120
小人団体	90
小人セット※	110
小人団体セット※	80
小人障害者	60

岩国城 現行料金表

※・・・セットは、岩国城の入場券と併せて、ロープウエー乗車券、錦帯橋渡橋券とともに購入するメニュー。セット購入時における同施設の利用料相当額を計上している。

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
岩国城ロープウエー耐震等改修事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和9年度～	
支援事業名	市単独	
計画に記載している内容	岩国城ロープウエーは、錦帯橋と岩国城のある城山山頂部をつないでおり、岩国城下町を体感する上で重要な施設。その老朽化による耐震性の懸念やバリアフリー上の課題があることから、耐震等改修工事を実施するもの。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
平成30年度に実施した岩国城ロープウエー索道施設耐震等検討業務を基に、関係機関と令和9年度の耐震化工事実施に向けた調整及び耐震補強後の料金改定に関する検討を行った。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	工事に1年程度要する見込であり、その期間岩国城まで徒歩以外の経路がないことが課題となっている。	
状況を示す写真や資料等		

索道料金	(円)
大人片道	330
大人往復	560
大人団体片道	270
大人団体往復	440
大人セット※	460
大人団体セット※	370
大人障害者片道	160
大人障害者往復	280
小人片道	150
小人往復	260
小人団体片道	110
小人団体往復	190
小人セット※	220
小人団体セット※	160
小人障害者片道	70
小人障害者往復	130

岩国城ロープウエー 現行料金
 ※…セットは、岩国城の入場券と併せて、ロープウエー乗車券、錦帯橋渡橋券とともに購入するメニュー。セット購入時における同施設の利用料相当額を計上している。



岩国城ロープウエー



岩国城ロープウエー 駅舎

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
まちづくり団体設立・育成支援事業		☐ 実施済 ☐ 実施中 ☒ 未着手	
事業期間	令和11年度～		
支援事業名	市単独		
計画に記載している内容	重点区域内及び岩国市内に点在する文化財等の歴史的資源を活かしたまちづくりを推進する上では、行政の取り組みだけでなく市民や活動団体の協力による取組みが不可欠。その文化財等の保存・活用に携わる団体やまちづくり団体の設立を支援し、活動経費の一部についての助成を行うもの。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
歴史的風致を支える市民意識の醸成に関する事業(郷土史研究会)		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	昭和42年度～		
支援事業名	市単独		
計画に記載している内容	郷土史研究会は、岩国徴古館の主催行事として昭和42年の開催以来、岩国の歴史や文化を中心とした講演を行っている。岩国の歴史的な活動や文化を広く伝えることにより、その理解を深め、歴史的風致を支える市民意識の醸成を目指すもの。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和6年度は第674～685回実施。年度を通した聴講者数は、延べ470名。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

令和6年度郷土史研究会

開催回	開催日	テーマ・講師	聴講者数
第 674 回	4 月 21 日	資料から見る安芸香川氏 講師: 濱保 仁志(岩国徴古館学芸員)	33
第 675 回	5 月 19 日	本郷宇塚の椿祈禱所 西村家資料の周辺 写真で見る山代～『錦町史民俗編』のころ～(その4) 講師: 金谷 匡人 氏(元山口県文書館副館長)	31
第 676 回	6 月 16 日	安芸の鉄生産と吉川氏 講師: 安間 拓巳 氏(比治山大学教授)	35
第 677 回	7 月 21 日	平氏家人周防岩国氏と源平合戦 講師: 齋藤 拓海 氏(宮島歴史民俗資料館研究員)	36
第 678 回	8 月 18 日	吉川経幹公について 講師: 原田 史子 氏(吉川史料館主任学芸員)	42
第 679 回	9 月 15 日	岩国吉川家の家格上昇運動の変容 —安永～文政期を中心に— 講師: 島井 裕太 氏(郷土史家)	32
第 680 回	10 月 20 日	巖流島の決闘を紐解く—決闘の実像と島の歴史— 講師: 松田 和也 氏(下関市立歴史博物館学芸員)	36
第 681 回	11 月 17 日	芸州口の戦いにおける諸隊との応接 —御用所日記を中心に— 講師: 松岡 智訓(岩国徴古館学芸員)	47
第 682 回	12 月 15 日	東沢瀉とその周辺 講師: 枝元 咲(岩国徴古館学芸員)	40
第 683 回	1 月 19 日	吉川元春の息子たち～個性のかたまり～ 講師: 田中 洋一 氏(元下関市立歴史博物館学芸員)	61
第 684 回	2 月 16 日	幕末長州藩における元号「元治」と「慶応」 講師: 山崎 一郎 氏(前山口県文書館副館長)	35
第 685 回	3 月 16 日	吉川家と宮庄家の関係について 講師: 小笠原 美里 氏(吉川史料館学芸員)	42
合計(人)			470



◀第682回郷土史研究会の様子

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度
錦帯橋鵜飼保存事業(歴史的風致を活かした観光振興事業)		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成26年度～

支援事業名 市単独

計画に記載している内容 錦帯橋のう飼は、昭和29年以前から夏の夜に行われている岩国城下町の歴史的活動。その活動の保存・継承のための鵜舎の管理、鵜の飼育・鵜舟の運行・鵜匠の人材育成・錦帯橋のう飼PR等を実施するもの。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

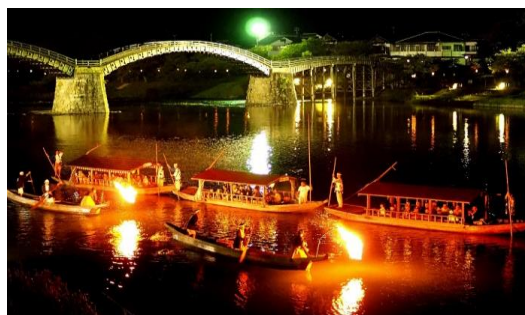
令和6年6月1日～9月10日の間で計75日の運航を実施。開催日数は昨年度を下回ったが、乗船者数は3,633人となり、昨年度実績を上回った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	河川増水や台風被害により運航中止を余儀なくされる場合が多く、船頭不足による稼働数の制限も発生しているため、コロナ禍以前と比較すると乗船者数が伸び悩んでいる。船頭手当の見直しなどに協力し、引き続き積極的な人員募集を図る。

状況を示す写真や資料等

年度	開催日数	乗船者数
平成27年度	82	5,120
平成28年度	88	5,877
平成29年度	100	6,864
平成30年度	85	5,148
令和元年度	82	4,850
令和2年度	47	1,467
令和3年度	46	1,480
令和4年度	86	3,263
令和5年度	85	3,627
令和6年度	75	3,633

鵜飼 開催状況



鵜飼 実施風景

インターネットを活用した船頭募集

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度		
項目		現在の状況		
岩国南条踊記録作成事業		☐ 実施済 ☐ 実施中 ☒ 未着手		
事業期間	令和11年度～令和15年度			
支援事業名	市単独			
計画に記載している内容	岩国南条踊は、無形民俗文化財。その内容を後世に伝えるために、映像をはじめとした記録の作成を行うもの。			
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で				
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない				
状況を示す写真や資料等				

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
山代神楽の紹介リーフレット作成事業		☐ 実施済 ☐ 実施中 ☒ 未着手	
事業期間	令和11年度～令和15年度		
支援事業名	市単独		
計画に記載している内容	山代神楽は、岩国市北部の山代地域に古くから伝わる神楽の総称。山代地域の各地区に伝わる神楽について、広く紹介するためのリーフレット作成を、各神楽保存会や山代神楽連絡協議会と連携して実施するもの。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度
城下町街なみ環境整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成26年度～

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 観光拠点である錦帯橋周辺を街なみ環境整備事業地区として、街なみ環境の整備を進めてきた。道路美装化や生活環境施設等の整備の遅れの課題があり、引き続き、歴史的まちなみを維持しながら、道路美装化や生活環境施設の整備等を行い、歴史・風土に調和した安全で活力ある居住環境の向上を図るもの。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

城下町街なみ環境整備事業 令和6年度実施事業

事業区分(社総交 交付要綱)	事業名	備考
生活環境施設整備	岩国高校記念館改修事業	評価軸3-③に掲載。
修景施設整備助成	景観形成事業補助制度	評価軸3-⑱に掲載。
景観重要建造物整備助成	〃	〃
効果促進事業	修景内容検討事業	〃

※令和6年度は、道路美装化などの工事は実施していない。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

道路美装化などの事業は、下水道整備事業、無電柱化推進計画事業など、他の事業と工事計画地が重複する箇所があるため、実施時期等を庁内関係課・地元住民等と連携しながら検討する必要がある。

状況を示す写真や資料等

今後の整備予定



評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
文化的景観の整備活用			現在の状況
			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 令和3年度～

支援事業名 市単独

計画に記載している内容 令和3年に「錦川下流域における錦帯橋と岩国城下町の文化的景観」保存活用計画を策定し、当該文化的景観の保存活用のための方針を定めた。本事業は、文化的景観保存活用計画書第6章に示す整備事業(例: 視点場の整備、案内サインの整備等)を行うもの。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和4年度から令和5年度にかけて「錦川下流域における錦帯橋と岩国城下町の文化的景観」整備計画を策定し、令和15年までの10年間(1期目)の整備事業を取りまとめた。令和6年から、同計画に基づく整備事業について、検討・着手している。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

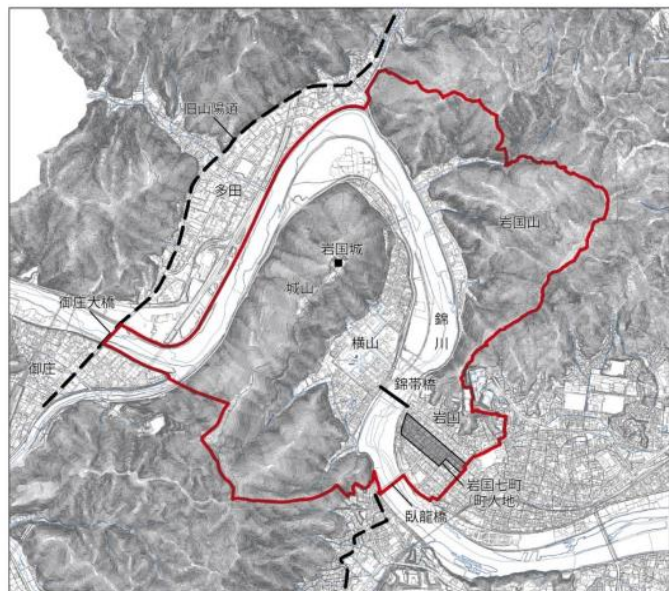
■計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

事業一覧(☆は継続事業)

事業名		事業箇所	事業主体	実施期間			末期以降継続事業	重点
				前期 R6～9	中期 R10～12	後期 R13～15		
保存システムの強化								
1) 本質的価値の継承のための仕組みの構築								
1	重要な構成要素の修理・復旧事業・耐震促進事業	—	所有者・市	実施				●
2	生活・生業支援補助金	—	事業者・市	開始	継続			●
3	重要な構成要素の追加特定、景観重要建造物の指定	—	市	実施				●
4	歴史的建造物活用スキームの構築	—	市	検討	開始	継続		
5	修理等に必要材料の確保に向けた仕組みの検討	—	市	検討	開始	継続		
2) 構成要素の保存に向けた整備								
6	岩国城跡調査事業 ☆	岩国城跡・御土居	市	実施				
7	城下町地区防災設備整備事業	—	市	計画設計	実施			
3) 本質的価値の継承に向けた体制の構築								
8	城山の保全	城山・若国山	市・関係機関	検討	開始	継続		
9	大工人材確保・育成事業 ※名勝錦帯橋保存活用計画からの再掲	—	市	検討	開始	継続		
10	防災・災害対応をはじめとする整備における関係機関等との連携強化	—	市・関係機関	検討	開始	継続		
11	地元相談窓口の設立及び活動支援	—	市・地元住民	設立	実施	継続		●
交流・回遊の強化								
1) 本質的価値を伝える拠点の整備								
12	吉香公園内歴史的建造物の活用に向けた整備事業	岩国高校記念館☆	市	実施				●
		その他	市		計画設計	実施		
13	視点場等整備事業	城山ロープウェイ山頂駅・岩国城天守 吸江瀬上 近之森稲荷神社付近	市	計画設計	実施			●
		市			計画設計	実施		
14	観光駐車場整備事業☆	—	市	実施				●
2) 本質的価値を伝えるネットワークの整備								
15	歩きやすい水辺空間づくりの取組の推進 ※名勝錦帯橋保存活用計画からの再掲	—	市・関係機関	検討	実施	継続		
16	街なみ整備助成事業の継続と周知促進 ☆ ※岩国市景観計画からの再掲	—	事業者・市	継続				
17	登山ルート周知・活用の促進	城山	市			実施		
18	案内板整備事業	—	市		計画設計	実施		
周知普及の強化								
1) 地域との協働によるまちづくりの推進								
19	まち歩き・座談会等開催	—	地元住民・市	開始	継続			●
20	ボランティアガイドとの連携・養成事業	—	地元団体・市	開始	継続			
2) 文化的景観の理解を深める活用の推進								
21	回遊ルートマップ・啓発パンフレット作成、デジタルコンテンツ活用事業	—	地元団体・市	実施	更新			●
22	城下町や本文化的景観に関する幅広い対象への学習機会(観光事業者、学校教育との連携等)の創出	—	地元住民・市	開始	継続			
3) 文化の継承に向けた取組の推進								
23	歴史的建造物継承に向けた周知普及事業	—	地元住民・市	実施				

事業名	事業箇所	事業主体	実施期間				重点
			前期 R6～9	中期 R10～12	後期 R13～15	以降 継続事業	
24 伝統芸能・祭り伝承事業	—	地元団体・市	開始	継続			
25 郷土料理普及・継承事業	—	地元団体・市		開始	継続		



重要文化的景観選定範囲

評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
吉香公園 北東ゾーン園路整備事業(仮称)		☐ 実施済 ☐ 実施中 ☒ 未着手	
事業期間	令和11年度～		
支援事業名	市単独		
計画に記載している内容	令和元年3月策定の「吉香公園基本構想」において、吉香公園の北東ゾーンは、歴史的建造物を核として岩国の歴史や文化を体験するゾーンと位置付け。しかし北東ゾーンは、錦帯橋から大噴水付近(アプローチエリア)との接続性が弱く誘客に課題がある。本事業では、この課題を解決するため、既在園路も活かしながら、北東ゾーンに特徴ある歴史文化に調和したユニバーサルデザインの園路(歴史・文化をつなぐ道、吉香神社参道、吉香神社からの誘いの道、山辺の道、茶室への道)を整備するもの。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
景観形成事業補助制度		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成10年度～	
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)	
計画に記載している内容	「岩国市景観計画」において、本市を代表する歴史的・文化的な景観を有する、横山地区及び岩国地区を景観重点地区に指定して、きめ細やかな景観誘導を行っている。本事業は、良好な景観の形成に寄与すると認められる工事に対して、必要と認める経費を助成するもの。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
令和6年度の補助金申請件数は、12月末時点で20件。(令和5年度:18件) また、昭和25年以前の歴史的建造物である「修繕対象物件」については、改修にあたって専門家に意見聴取を行っている。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	歴史的な町家の通りにおいては、道路に面して軒が連なることが特徴であるが、現代の車社会において、まちなみの維持との両立についての合意形成に苦慮している。	

状況を示す写真や資料等

(単位 金額:千円)

地区	内容	件数	事業費	交付額
横山地区	修景:(建物・困障の新築・新設)	6	20,520	11,560
	修景:(建物・困障の改修)	8	4,530	3,155
	修繕対象物件	0	0	0
小計		14	25,050	14,715
岩国地区	修景:(建物・困障の新築・新設)	1	4,430	3,248
	修景:(建物・困障の改修)	1	454	311
	修繕対象物件	4	4,853	3,556
小計		6	9,737	7,115
合計		20	34,787	21,830

補助対象一覧表

項目			補助率	補助限度額(円)
修繕対象物件(市が指定した建築物等)のうち、本来のよさを出せるような修繕行為			3分の2	6,000,000
建築物	屋根	和形いぶし日本瓦等	3分の2	1,350,000
		その他(カラーベスト等)	700円/㎡	100,000
	外壁	塗壁、板張り、吹き付け等	3分の2	500,000
		その他(サイディングボード等)	600円/㎡	100,000
	開口部	窓	400円/㎡	50,000
		面格子	2分の1	
		出入口	2分の1	200,000
困障	塀等	白壁	3分の2	2,500,000
		白壁風のもの、小壁付きの和風板塀及び板塀	3分の2	750,000
		生け垣	3分の2	300,000
		その他(簡易な塀)	2分の1	150,000
	門	木製	3分の2	3,000,000
		アルミ製	3分の2	500,000
		その他(ゲート等)	2分の1	300,000
その他	車庫		2分の1	350,000
	舗装		2分の1	200,000
	看板		2分の1	350,000
	室外機・設備機器の困障		2分の1	200,000
	擁壁等		2分の1	400,000
仮設	直接仮設費		2分の1	150,000
設計	設計・監理		2分の1	建築設計料率による

評価軸③-20

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度
		現在の状況
岩国2丁目観光駐車場整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 令和4年度～

支援事業名 市単独

計画に記載している内容 岩国城下町の観光用駐車場としては、錦帯橋周辺の河川敷が利用されているが、河川増水時の対応や景観上の課題がある。本事業は、河川敷からの車両移動を推進するために、岩国2丁目に観光駐車場を整備するもの。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和6年度には、事業用地取得のため、事業認定手続きを行い、並行して各地権者との交渉や住民説明会の開催を行った。また、敷地面積を最も活用できる立体駐車場方式検討業務を実施。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

錦帯橋までの動線整備や完成後の管理運営体制の検討が必要。

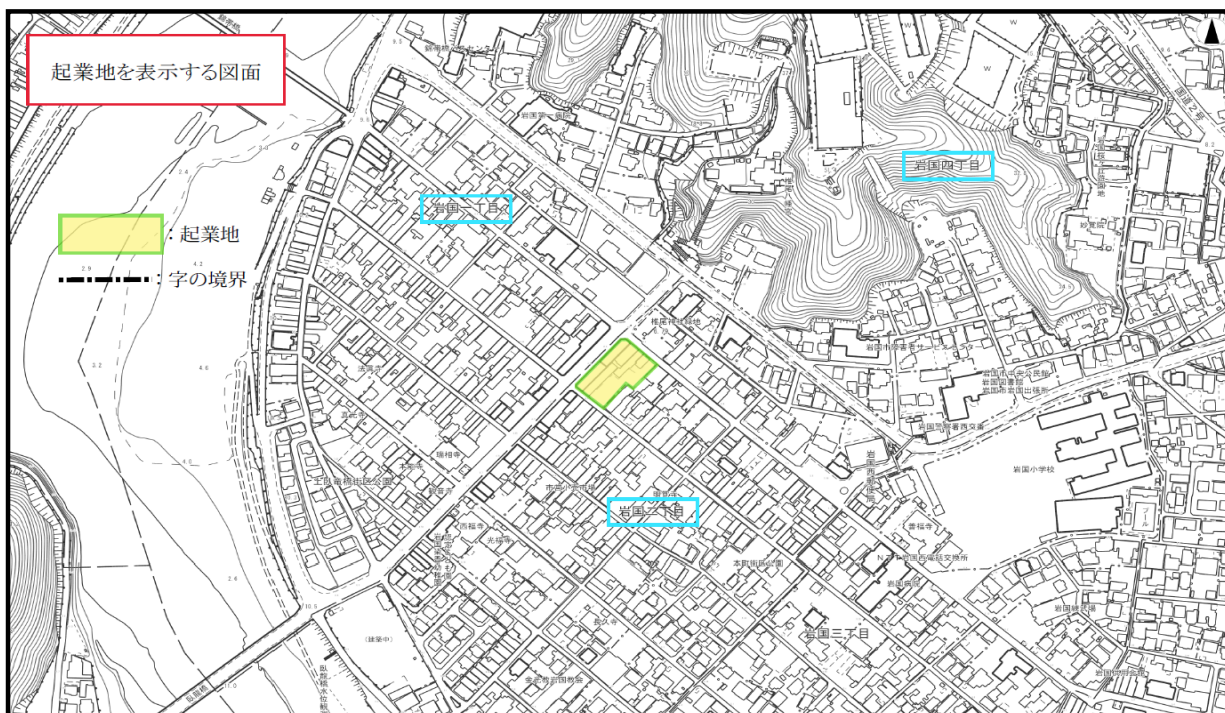
状況を示す写真や資料等

◇駐車場の概要

- ・全体面積・・・1987.56㎡
- ・駐車場・・・立体駐車場を検討。

◇完成予定時期(最短)

令和11年3月



評価軸③-21

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度
岩国4丁目観光駐車場整備事業		現在の状況 ☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成30年度～

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 岩国城下町の観光用駐車場としては、錦帯橋周辺の河川敷が利用されているが、河川増水時の対応や景観上の課題がある。本事業は、河川敷からの車両移動を推進するために、岩国4丁目に観光駐車場を整備するもの。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和5年度までの間に、一部用地部分を除く造成工事・急傾斜地安全対策工事を完了。
令和7年度に残りの造成工事・急傾斜地安全対策工事を実施する予定。

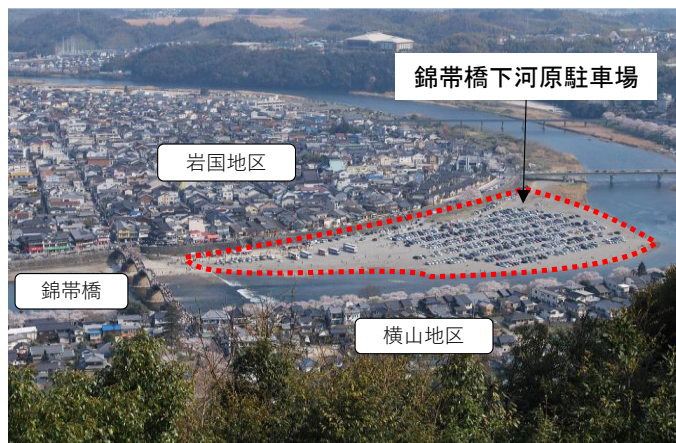
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

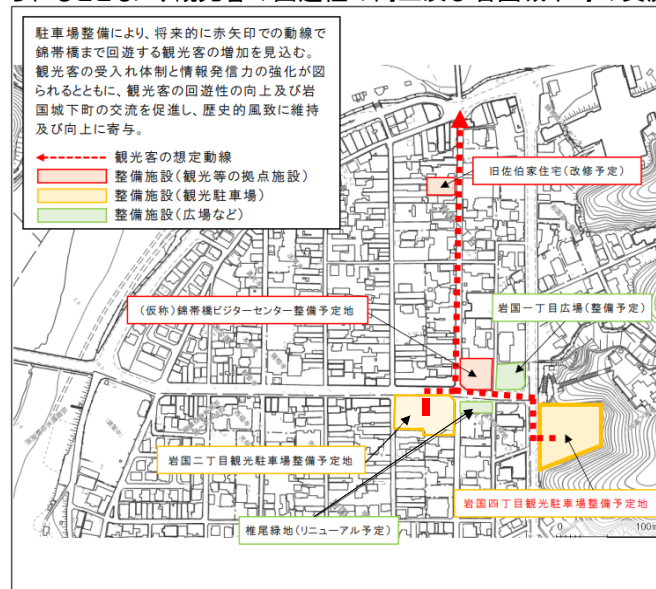
☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

岩国地区は観光客の往来が多く、その中でも乗用車での往来者の多くは、現在、錦帯橋下河原駐車場を利用している状況にある。



岩国4丁目観光駐車場整備事業は、この下河原駐車場の移転先の一つであり、岩国地区における観光のメインストリートである大明小路・臥龍橋通りの付近に整備することによって、観光客の受入れ体制と情報発信力の強化が図られるとともに、観光客の回遊性の向上及び岩国城下町の交流を促進し、歴史的風致の維持及び向上に寄与。



評価軸③-22

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
(仮称)錦帯橋ビジターセンター整備事業		☐ 実施済 ☐ 実施中 ☒ 未着手	
事業期間	令和11年度～		
支援事業名	市単独		
計画に記載している内容	本事業は、錦帯橋をはじめとする岩国城下町の観光案内施設、歴史文化情報発信や城下町の回遊性創出機能を持つ賑わい創出施設として、(仮称)錦帯橋ビジターセンターを整備するもの。事業が歴史的風致の維持及び向上に寄与。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

評価軸③-23

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
岩国市博物館整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和3年度～	
支援事業名	市単独	
計画に記載している内容	岩国徴古館では、収蔵・展示スペースや情報発信機能の不足といった課題がある。本事業は、令和元年から令和2年度に策定した岩国市博物館等施設再整備計画、令和3年度に策定した岩国市博物館基本計画に基づき、新館建設と岩国徴古館の改修を実施し、一体で博物館として整備するもの。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
令和6年度 付属施設等撤去工事(インフラ工事を含む)		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	新博物館建設工事の入札不調により予定していた工事が延期。 事業計画について再検討を行う。	
状況を示す写真や資料等		



▲俯瞰イメージ



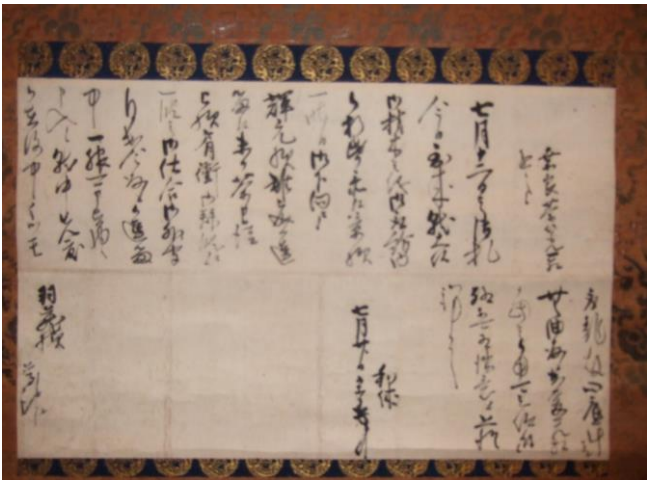
▲新館と岩国徴古館イメージ

評価軸③-24

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
未指定文化財の調査		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和11年度～	
支援事業名	市単独	
計画に記載している内容	市内各地には、地域で大切にされてきた未指定の文化財や、市の歴史文化を知る上で貴重な未指定の文化財が残されている。これらの未指定文化財の調査を行うもの。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
令和11年度からの本格的実施のために、予備調査や情報収集を行っている。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
 仏像調査(本郷 個人蔵)  石造物調査(周東 差川地区五輪塔ほか)		

評価軸④-1
文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		令和6年度					
項目		現在の状況					
文化財の保存・活用の現況・体制と今後の方針		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手					
計画に記載している内容	本市は、文化財保護法、山口県文化財保護条例、岩国市文化財保護条例に基づき、国や県の指導助言を受け、これらの保存活用に取り組んでいる。一方、未指定・未登録の文化財については、岩国城下町を含め、その全容把握が一部しか完了していない。今後は、国・県・学識経験者等の協力を得ながら、文化財の総合的把握や悉皆調査等に取り組み、指定・登録制度等の活用による適切な保護の推進を図る。また、文化財の保存活用に係る体制として、「岩国市文化財保護条例（平成18年3月20日条例第287号）」の第21条に基づき、「岩国市文化財審議会」を設置している。						
定性的・定量的評価（自由記述）※定量的評価は可能な範囲で							
指定文化財の追加 文化財審議会の開催 岩国城跡の発掘調査（評価軸③-1に掲載。）							
進捗状況※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）					
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない							
状況を示す写真や資料等							
●指定文化財の追加 当市は、令和6年度に有形文化財（美術工芸）として、「大肩衝茶入 付 千利休書状（一口 対 一幅）」を指定   大肩衝茶入 千利休書状							
岩国市内の指定等文化財件数（令和6年（2024）12月時点）							
種類		国		県指定	市指定	合計	
		指定・選定	登録				
有形文化財	建造物	2	11	4	10	27	
	美術工芸品	絵画			4	7	11
		彫刻			3	26	29
		工芸品	7		15	19	41
		書籍・典籍	5		2	4	11
		古文書			2	13	15
民俗文化財	有形の民俗文化財				7	7	
	無形の民俗文化財	2		4	8	14	
記念物	遺跡			2	13	15	
	名勝地	1		3	2	6	
	動物、植物、地質鉱物	3		5	12	20	
重要文化的景観		1				1	
合計		21	11	44	121	197	

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
文化財の修理(整備)に関する方針		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	有形文化財は災害や経年劣化により毀損や滅失が生じる恐れがあることから、日頃の予防策と損傷等が生じた際の適切かつ迅速な修理・復旧が必要である。今後は、当該文化財の価値を損なうことのないように、必要な調査を行ったうえで、国・県・学識経験者等の協力を得ながら内容を検討し、修理を行う。また、民間が所有する歴史的建造物の修理(整備)については、必要に応じて、その保存活用に向けた支援に努める。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
今年度は(公財)吉川報効会所蔵の重要文化財吉川家文書のうち、二大字「以徹」(吉川元長筆)、吉川家什書(吉川家文書No.735~739)と市指定文化財「吉川家肖像画」六幅のうち、吉川広家肖像画一幅の修理を実施した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	有形文化財、とくに美術工芸品関係については、適切に修理を進めていけるように対応していきたい。	
状況を示す写真や資料等		

①文化財の修理

吉川家文書修理前(以徹)



吉川家文書修理後(以徹 軸装前)



吉川広家肖像画(修理前)



吉川広家肖像画(修理後 軸装前)



評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
文化財の防災に関する方針		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
計画に記載している内容	有形の文化財は、火災、地震、落雷、水害、台風等の災害による毀損や滅失、そして放火、盗難等といったリスクを有している。今後は、さまざまな自然災害や人為的災害から文化財を守る防災対策を検討し、市民の防災に対する意識の向上等、被災リスクの軽減に向けた文化財の防災・防犯に対する備えを万全にするように努める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
旧目加田家住宅における防火設備設置に向け、実施設計を行った。(評価軸③-2に掲載。) 旧目加田家住宅のある横山地区の自治会や、観光ボランティアガイドを中心に、防火訓練及び講話を実施し、市民の防災に対する意識の向上に取り組んだ。 また、文化財防火デーを前に、旧目加田家住宅を訓練実施対象建築物とした消防訓練を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

訓練実施日 令和6年12月2日(月) 11:00~11:50
 当日の様子

実施場所 サンライフ岩国



訓練実施日 令和7年1月21日(火) 10:00~11:00

実施場所 旧目加田家住宅
吉香公園



評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目			現在の状況
文化財の保存及び活用の普及・啓発に関する方針			☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
計画に記載している内容	本市では、文化財の保存及び活用の普及・啓発にあたって、案内板の設置、パンフレットの配布、インターネットを活用した情報発信等に取り組んできた。また、子供を含む市民を対象とした講座や体験イベント等の開催にも取り組んできた。今後は、これまでの取組を継続しつつ、更に発展させていくように、普及・啓発に向けた内容の充実に取り組んでいくことを基本とする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
第23回山代神楽共演大会の開催 平成18年7月に山代地域の神楽7団体により結成した山代神楽連絡協議会の主催により、団体自身の手で積極的にイベントを企画・運営することにより、広く山代神楽の存在をPRするとともに、活動力の醸成や団体間の交流を図ることを目的とする。			
岩国民俗芸能まつりの開催 市内における、先人から受け継がれてきた民俗芸能は、地域の文化、風習、歴史などを理解する上で大変貴重なものである。これらの民俗芸能を一堂に集めて、広く市民に鑑賞していただき、その大切さを認識してもらおうと共に、ご出演いただく方々には、次代へ受け継ぐ担い手としての自覚を醸成することを目的とする。 (岩国行波の神舞保存会など、12団体が出演。)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

岩国民俗芸能まつり ポスター



第23回山代神楽共演大会 ポスター



評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル		評価対象年度	令和6年度
年月日		掲載紙等	
岩国高校記念館 改修へ		R6.4.17	中国新聞
錦帯橋まつり 住民が一役		R6.4.18	中国新聞
山代神楽の魅力 高校生が体感		R6.4.19	中国新聞
車いすで錦帯橋 夢はいつ		R6.5.25	中国新聞
いざ神楽甲子園 岩国高坂上分校 独自演目で挑む		R6.5.26	中国新聞
アユ豊漁と安全を祈願		R6.5.30	中国新聞
夏を告げる伝統の技 岩国で鵜飼い開幕		R6.6.2	中国新聞
錦帯橋の鵜飼い始まる		R6.6.3	毎日新聞
伝統「錦帯橋のう飼」		R6.6.3	読売新聞
日本の電機の父、知ってる？ 藤岡市助企画展		R6.6.4	朝日新聞
かがり火の下で伝統漁法 錦帯橋の鵜飼始まる		R6.6.4	日刊いわくに
舞う子ども 継承の拠点 神楽稽古場		R6.6.27	中国新聞
今年も「神楽甲子園」出場 岩国高坂上分校で壮行会		R6.7.17	毎日新聞
2回目の神楽甲子園を前に		R6.7.18	日刊いわくに
岩国の「歴史まちづくり」国認定		R6.7.18	中国新聞
「歴史まちづくり」計画認定		R6.7.20	日刊いわくに
岩国市の歴史まちづくり計画		R6.9.2	山口放送ラジオ
錦帯橋芸術文化祭始まる		R6.11.10	中国新聞
シロヘビ神輿が吉香公園練り歩く		R6.11.26	日刊いわくに
シロヘビ岩国 特別な年に		R7.1.3	中国新聞
躍動行波の神舞 4月岩国6年に1度の奉納へ		R7.1.5	中国新聞
木造の錦帯橋 魅力を学ぼう		R7.1.9	中国新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

計画の認定を受けたことや、若い世代に向けた啓発イベントの実施などが各紙やラジオ放送などに取り上げられ、計画及び掲載した歴史的風致や建造物、文化財等の情報発信が行われた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画の進捗に影響あり ☐ 計画の進捗に影響なし	歴まちカードの配布を中心に、計画の推進による情報発信についても取り組んでいく。

状況を示す写真や資料等



配布中の歴まちカード

○配布場所
 岩国市観光交流所 本家松がね
 岩国市岩国一丁目7番3号
 TEL 0827-28-6600

		評価対象年度	令和6年度
項目			
住民意識や認知度の向上			
計画に記載している内容	本計画は、地域の独自性の確立や、固有の伝統文化を保全し、後世に継承することへの意識の醸成や郷土文化に誇りを持つことにより、地域の誇りや連帯意識の向上を図ることも目的とする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付			
山代神楽連絡協議会 会長が講師となり、山代神楽の魅力や岩国高等学校坂上分校 神楽クラブの成り立ち等を講話した。セミナーの後は、神楽クラブの生徒達が「三鬼」を演舞し、高校生をはじめ幅広い世代に向けて、山代神楽の伝統文化啓発が推進された。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
■計画の進捗に影響あり □計画の進捗に影響なし			
状況を示す写真や資料等			

神楽を学ぼう！ イベントポスター



高校生による演舞の様子



評価対象年度	令和6年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 岩国市歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時: 令和7年2月10日(月)13:30～15:30	
(コメントの概要) (1) 岩国市は本計画について、2期計画を策定する意向はあるのか。 (2) 計画書のなかで、歴史的風致形成建造物の指定候補を掲げているが、これは今後も増やしていくことは可能なのか。 (3) 旧佐伯家住宅及び門塀を、歴史的風致形成建造物として指定する様に、保全すべき価値のある建造物が他にあるのか調査していくことも必要なのではないのか。 (4) 岩国市景観条例で定める、届出が必要な行為について、本来届出がされるべきケースの届出漏れが多いのではないのか。 (5) 計画書第6章で掲載している各事業について、1枚の資料に進捗状況等を集約して、全体が簡潔に解る資料を作成してはどうか。 (6) 「山代神楽の紹介リーフレット作成事業」に関して、ほかの民俗芸能も紹介してはどうか。 (7) 岩国地区に観光駐車場を整備する構想だが、大量の車両がこの地区に流入してくることになった際の交通誘導計画等はないのか。 (8) 未指定文化財の調査にて、建造物を調査対象とすることはないのか。 (9) 計画書を配布する先はどのように考えているのか。 【コメントのみ】 (10) 現在、市をあげてインバウンドの集客に努めているが、所管を超えてこのテーマを持った整備推進をお願いしたい。 (11) 認定を受けるにあたり大変な労力を伴う計画の認定をせっかく受けたのだから、市をあげて歴史まちづくりに取り組んでいるというところを、もっとPRしてはどうか。	
(今後の対応方針) (1) まだ策定をして間もないので、まずは計画の推進に努め、計画期間の満了が近づいてきたタイミングで各事業の進捗などを踏まえて、2期計画への移行についても検討する。 (2) 計画の策定後も、市内の歴史的風致の掘り起こしを行い、新たに歴史的風致を構成する保全の必要性の高い歴史的建造物があった際は、それらを指定候補として取り上げ、協議会において報告する。 (3) 重点区域内にある歴史的建造物について、今後も掘り起こしを行っていく。 (4) 市内の請負業者については制度に関する資料の配布を行い、施工にあたっては届出を行うように伝えているが、市外業者が請け負い、届出が漏れるケースも見られる。こうしたケースを予防できるよう、制度の周知を継続して行う。 (5) 各事業のスケジュールや概要等が1枚で確認できるような資料を作成することも検討する。 (6) 山代神楽連絡協議会の構成団体である7団体の神楽を幅広く取り上げる。他の民俗芸能についても、担い手である住民の方と連携しながら、その普及・啓発に努める。 (7) 観光駐車場を整備することによって、岩国地区に降り立ち、同地区を回遊して錦帯橋を楽しみ、岩国城やロープウエーのある横山地区へ誘導する観光客の動線が形成されることを期待している。車両の流入に対する適切な案内誘導については、現在検討中である。 (8) 文化財保護法に準ずるものであれば、建造物も調査対象とし、調査を行う (9) 計画策定にあたり、取材や資料の提供等でご協力いただいた団体をはじめ、関係者や、市内の中学校にも配布を行い、岩国市の歴史的風致についての普及・啓発を図る。	